

歳末特別査察を実施

松戸市消防局

松戸市消防局は、令和3年12月2日（木）年末年始の繁忙期を迎えるにあたり、多くの人出が予想される株式会社アトレ松戸店の歳末特別査察を実施しました。

査察は、消防局参事監兼中央消防署上場幸広署長が、消防用設備等の維持管理、避難通路の確保等を確認し、従業員が火災予防の重要性を再認識することを目的として行われました。

消防職員が、従業員に対して火災発生時の対応確認を行ったところ、速やかに的確な行動ができており、自主防火管理の意識が強く感じられました。



令和3年度航空救助訓練を実施

海老名市消防本部

海老名市消防本部では、令和3年11月19日（金）に、消防署南分署において川崎市消防局航空隊と合同訓練を実施しました。この訓練は、神奈川県下消防相互応援協定に基づく航空機特別応援による連携活動を強化し、航空機が必要となる災害等における、災害活動対応要領の確認及び航空機の性能並びに安全管理要領を習得することを目的とし、無線交信、地上誘導要領、担架等での救出訓練を実施しました。

今後も関係機関と更なる連携強化を図り、災害対応能力の向上を図ってまいります。



消防通信 望楼 ぼうろう

女性を対象とした消防の仕事説明会「消防の仕事を知ろう!」を開催

愛知県防災安全局

令和3年11月14日（日）、消防を職業の選択肢としてもらうことを目的に、初めて愛知県と県内の消防本部（局）が共同で、中学生以上の女性を対象に説明会を開催しました。ガイダンスの他、女性消防吏員との座談会ブースを設け、参加者は、女性消防吏員から活きた声を聞くことで、警防、救急、総務、予防、通信業務等、幅広い分野で活躍できるということを知る機会となりました。また、消防本部（局）間でも大変有意義な意見交換ができました。



電話で命を繋ぐ 口頭指導を学ぶS-EDGEコースに参加

泉州南広域消防本部

泉州南広域消防本部では、泉州地域MC協議会が主催する、地域の6消防本部の通信指令員が心理学や医学的知識を交えた講義、通報音声を用いた検証、119通報対応訓練を通し口頭指導を学ぶ、泉州通信指令員救急教育コース（Senshu Emergency Dispatcher Grow and Evolveコース。通称「S-EDGEコース。」）に参加しました。

このコースでは、MC医師から医学的監修を受け、指導的立場にある通信指令員や救急救命士が指導者を務め、消防主導の持続可能な屋根瓦式の教育を実践し、今後も地域の救命率向上を目指します。

